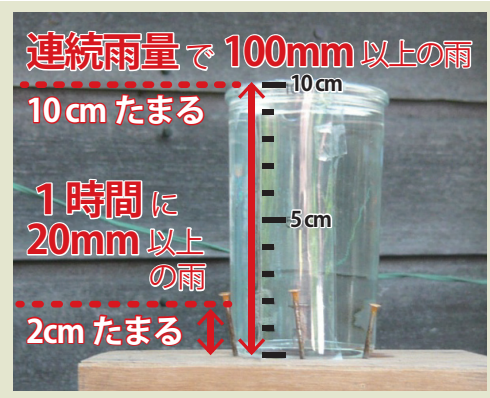


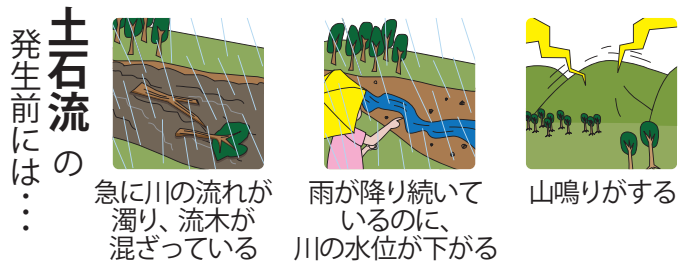
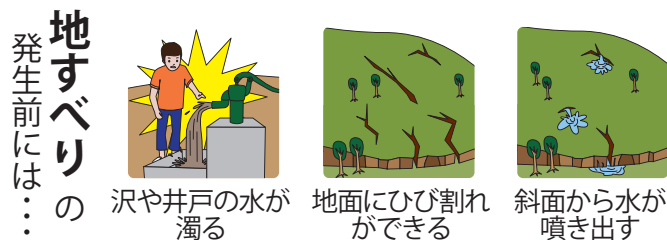
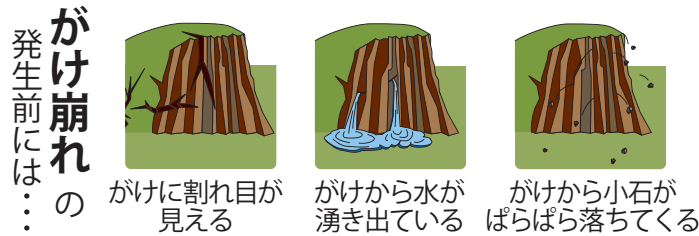
雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。
右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう



この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう



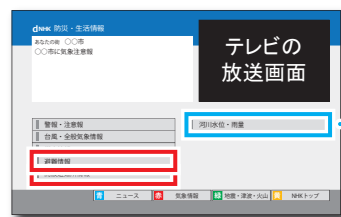
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの**d**ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



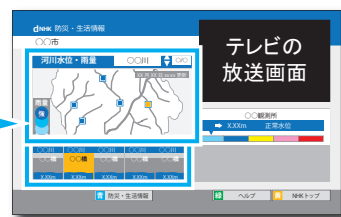
（テレビ画面イメージ図）

② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

③ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

鵜住居町内会

津波ハザードマップではありません

洪水・土砂災害 自主避難計画

当町内会では、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

1 日頃から住民全員が やっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認!!
- 雨量に気を配る習慣をつけましょう!!



『洪水・土砂災害緊急避難地図』（中面）を確認しておきましょう

※ 地震・津波災害時の避難箇所とは異なります

2 雨が降り始めたら・・・

土砂災害発生の危険が高まる目安は、**1時間雨量20mm、連続雨量100mm**の雨です

各自で雨量を計測（裏表紙を参照）

自主避難基準 となる現象が起きていないか確認!!



3 自主避難基準 に達したら、町内会役員等に報告し、それぞれがすぐに避難対応！ →状況を共有して町内会みんなで避難対応！



自主避難基準 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **連続雨量150mmを越えた**場合（当面の運用基準）
- 地域内のがけや沢で**土砂災害の前ぶれ（予兆現象）**が確認された場合
- 釜石市役所が**“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”**を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応 ∥「**早めの避難**」が重要！避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です∥

まずは 鵜住居小学校・釜石東中学校 第1体育館・第2体育館 / 国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所 へ避難

ただし 移動に危険が伴う場合（道路冠水、土砂流出など）は、**比較的安全と思われる場所や建物** または **がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上** へ避難

状況によっては自宅待機が最も安全な場合もあります






※この計画は令和元年11月～令和2年1月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、鵜住居町内会として検討したものです。

洪水・土砂災害緊急避難地図

鵜住居町内会





現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

-  洪水・土砂災害緊急避難場所
-  比較的安全と思われる場所や建物
-  大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
-  過去に発生した災害
-  その他の事柄

土砂災害の危険性

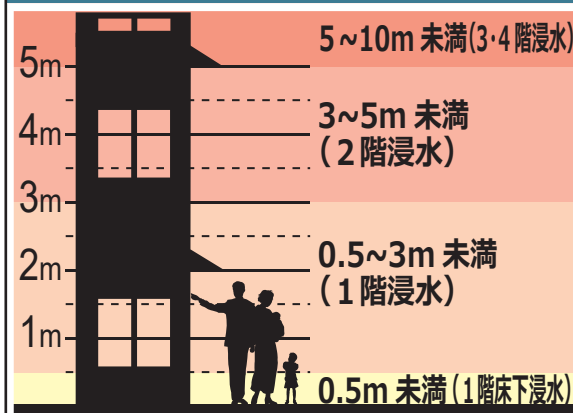
(岩手県砂防基礎調査結果および土砂災害対策検討図に基づく)

-  土砂災害の危険性が**特に高い**区域
(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)・土石流)
-  土砂災害の危険性が**高い**区域
(急傾斜地(がけ崩れ)の崩壊)
-  土砂災害の危険性が**高い**区域
(土石流)
-  指定・公表されていないデータを含むため、今後の調査等によっては、範囲が修正となることがあります。

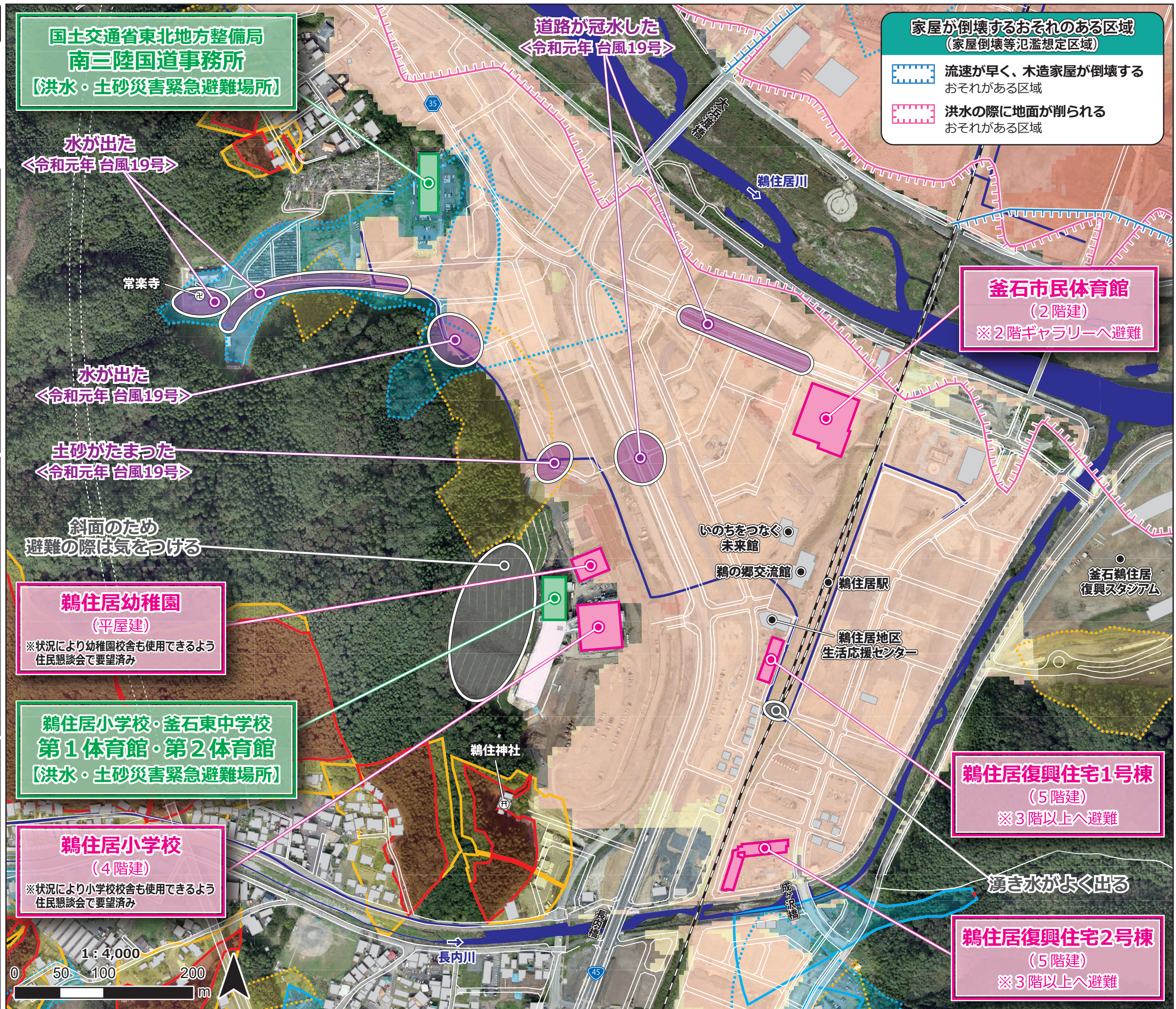
洪水ハザードマップ

(鵜住居川浸水想定区域図(令和元年)に基づく)

 津波ハザードマップではありません



【令和2年3月作成】



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第688号) 航空写真は、2016年9月に岩手県が撮影した写真を使用した。